

正誤表

「建設業における母性健康管理ガイドブック」

ページ	位置	正	誤
P.2	図 1	就業者に占める女性の割合	就業中に占める女性の割合
P.6	4 行目以降	別紙（表） のとおり	—
P.9	産前・産後休業を取得しました。	<u>労働基準法第 65 条</u> 関係	男女雇用機会均等法第 65 条関係
P.13	妊産婦等の就業制限の業務の範囲	1 号 重量物を取り扱う業務 <u>(別表 1)</u>	1 号 重量物を取り扱う業務
P.14	別表 1	重量物を取扱う業務 <u>年齢区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる重量以上の重量物を取扱う業務</u>	重量物を取扱う業務
		満 18 歳以上	満 18 際以上
P.15	その他の法律や制度	母性健康管理指導事項連絡カード	母性健康管理指導連絡カード
		妊産婦等の危険有害業務の就業制限（重量物、他）（第 64 条の 3 関係）	妊産婦等の危険有害業務の就業制限（重量物、他）（第 64 条関係）
P.23	女性労働者の注意事項	③、⑥しっかりと症状や自身の業務、業務上の動作（立ち作業、おなかの圧迫）、作業環境（不安定な足元、粉じん等）、労働時間、通勤時の状況（通勤ラッシュでおなか圧迫等）などを伝え、記載漏れのないよう記入してもらいましょう。	③しっかりと症状や自身の業務、業務上の動作（立ち作業、おなかの圧迫）、作業環境（不安定な足元、粉じん等）、労働時間、通勤時の状況（通勤ラッシュでおなか圧迫等）などを伝え、記載漏れのないよう記入してもらいましょう。
P.36		別紙（裏） のとおり	—

別紙（表）

過重労働、長時間労働

- 人員不足のため業務量が減ることはなかった。
- 配員の少ない現場だったので、残業が多くて身体的にもつらかった。
- 仕事量が多く、上司に相談したが人員がすぐに確保できず、対応せざるを得なかった。
- どうしても深夜まで残業しなくてはならないことがあり、タクシーで帰宅した。

休憩、休暇がとれない

- 横になるスペースがなく、トイレのイスに座ってガマンした。
- つわりで医師より薬を処方され、少し休憩をとりたかったが、病気ではないので言い出しにくかった。
- 休暇中の代わりの人が見つからずぎりぎりまで休暇が取れず、早産になった。

職場において

- 現場事務所の前で待機しているダンプの排気ガスにおいて気分が悪くなり嘔吐した。
- 塗装、シール等においてきつく体調が悪くなりやすいと感じた。
- タバコの煙がつかかった。近くでタバコを吸わないようにしてもらったが、まだまだ不十分だと感じた。
- 同僚の整髪料や香水のにおいて吐き気がひどくなり、自主的にマスクを使用。

負担の大きい作業

- 上司の配慮はほとんどなく、重い荷物の配布などを言い渡され、手伝う事もしてもらえず、精神的につらかった。
- 妊娠初期の公開していない時期は重い荷物を持つのがつかかった。
- 図面の整理などは手の空いている人を見つけて重いものを持つのを避けるようにした。

出張、移動を伴う業務

- お腹が大きくなってからは、歩くことがつかかったので、外出はできるだけ避けるようにした。
- 外出が多く、バスの時間に合わせて走るなどが大変につらかった。
- 安定期前に数回、出張があり飛行機での移動があったが、行きたくなかった。

現場での作業

- 妊娠後期、お客様から現場に呼び出されることがあり、段差などが怖かった。
- 寒い時期の屋外作業がつかかった。
- 安全ベルトが子どもに負担をかける気がしてつけるのが怖かった。

長時間座ったままの姿勢

- 産休直前に残業(主にパソコン入力)が続き、お腹がはった。
- 妊娠中期より胃の圧迫感で吐き気がひどくなり、ずっと座り続けての業務がつかかった。
- 長時間座ったまま腰が痛くなった。

つわり等の体調不良

- 安定期に入るまで妊娠していることを伝えるのが嫌だったため、つわりに耐えつつ業務を行っていた。
- つわりがひどく、勤務中に吐くことが多かったが、職場は男性が多く状態を説明しなかった。

その他

- 特別視され過ぎて仕事の制限をされ、存在価値が下がった様な気持ちになった。
- 通勤ラッシュに耐え切れず、作業所まで行くことが出来なかった。

確認例

母性健康管理に関する運用状況チェックシート

年 月 日

部署名 _____

担当名 _____

▶「就業規則」と「運用状況」を確認する

妊娠中(出産後)の事業主の措置		就業規則あり	利用実績あり
母性健康管理の措置	妊産婦の勤務時間中の健診時間の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	医師等の指導事項に対応する措置 ● 通勤緩和 ● 休憩に関する措置 ● 妊娠中又は出産後の症状等に対応する措置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	妊産婦等の危険有害業務の就業制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
母性保護規定	妊婦の軽易業務転換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	変形労働時間制における妊産婦の法定労働時間を超える就業の制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	妊産婦の時間外労働、休日労働、深夜業の制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	産前・産後休業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	育児時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

＜具体的な取組内容と実施時期＞ できていないところについては、その原因を把握し、問題があれば改善しましょう。

項目	取組内容	実施時期
就業規則の整備		
利用実績の確認		

▶全労働者に周知して、利用しやすい制度にする

全労働者に周知している	<input type="checkbox"/>
-------------	--------------------------

＜具体的な取組内容と実施時期＞

周知方法の決定

・イントラネットや社内報で、法制度について情報提供する	<input type="checkbox"/>
・自社での運用法をまとめたガイドブック等を全社員へ配布する	<input type="checkbox"/>
・研修会やeラーニングを通じて必要な対応を身に付ける	<input type="checkbox"/>
・妊娠申出時に女性労働者及び上司に説明する	<input type="checkbox"/>
・その他()	<input type="checkbox"/>

実施スケジュール

取組内容	実施時期